

まっちゃんぐ

街 ing いばらき NEWS

No. 225

2021年

11月号

(毎月25日発行)

長谷川誠子

10月例会 議事録

日時：令和3年10月7日(木) 15:00～17:00 <本年6月より15時開始に変更しています>

場所：川本本店 茶論[縁](さろん「えん」)

出席者 11名 川本 阪田 阪田 笹嶋 杉田 南野 長谷川 藤原 牧 吉田 来賓：桂議員

1 9月29日(木)に吹田市・中西家の見学をしました。⇒6ページに当日の記事を掲載しています。

2 今後の行事予定

11/26(金) 紅葉狩り 阪急電車嵐山線松尾大社周辺

12/9(木)忘年会 パナソニックリゾート大阪 ふぐ料理 ⇒ 7ページに案内書を掲載しています。

来年4月お花見の日程は未定

3 桂市会議員に参加していただき、茨木市の現在の茨木、これからの茨木について教えていただきました。

テーマ 阪急駅前の再開発進行状況 阪急駅前の民間病院誘致 JR 茨木駅西側の再開発 新・市民会館の建て替え 彩都の大型商業施設 彩都の道路建設 西河原西交差点の立体化 目垣・野々宮地区整理事業 中央通り・JR 線交差点の改良

桂議員作成のレジメをいただき、よくわかる説明をしていただきました。詳細は来月12月号に掲載します。

4 次回の例会は11月4日(木)、引き続き15時開始です。



人生 100 年時代、お金の誤算

～専門家が選ぶ 10 の注意点～

牧 彰氏紹介「日本経済新聞 2021/7/5 より」

平均寿命が延び、今や「人生 100 年時代」とも言われる。長寿化は本来、喜ばしいことだが、思わぬ誤算に出くわすことも多い。家計の専門家が、長寿社会ならではのお金の注意点を選んだ。

■1 位 介護費用の負担が重い

お金の準備でパニック防ぐ 750 ポイント

90 歳を超えると、ほぼ 2 人に 1 人が要介護、要支援の公的サービスを受けている。人生 100 年時代、介護費用を全く考えずに一生を送る人の方がもはや少ないだろう。ある 50 代女性は「亡き母の生命保険があったのに大金を手にした途端、親族の金遣いが荒くなり、数年後に父が要介護となった時は全く足りなくなった」と嘆く。

「介護はある日、突然やってくる。ある種の『危機管理』と考え、お金の準備をしないとパニックになる」(大江英樹さん)。また「介護が始まると、資産が減るスピードが速くなる」(畠中雅子さん)。介護費用の負担に加え「自分たちでは買い物に行けなくなり、節約も難しくなる」からだ。



在宅では『老々介護』が年々増えており、双方がともに 65 歳以上の割合は既に 6 割近い。一方、介護施設に入居すればお金の負担はより重くなる。「認知症が進み施設へ入居。自宅はそのまま残り、家族は介護費用と空き家管理費の二重負担に苦しんだ例を知っている」(望月厚子さん)。「持ち家を手放す判断は難しいもの。子世代も含めて家族で早く話し合うことが何より大切だ」(瀧俊雄さん)

■2 位 老後も支出が減らない

生活水準下げる選択も 700 ポイント

定年退職期を迎えた後の支出は自然に減ると思込む人は多いが、現実はやや異なるようだ。退職後に地域コミュニティへデビューしたり、現役時代は我慢していた趣味で新たな仲間を見つけたりして「老後に『交際費』が大幅増になる世帯は多い」(竹下さくらさん)。「退職金で気が大きくなり、浪費に気づかない人もいる」(平野敦之さん)



「税や医療費などの負担増は高齢層にものしかかりかねない」(野尻哲史さん)懸念もある。対策には「生活水準を下げる覚悟が要る。家族の理解と協力がないと実現できない」(森本幸人さん)。

■3 位 住居費がかさむ

家の「老い」にも対策を 570 ポイント

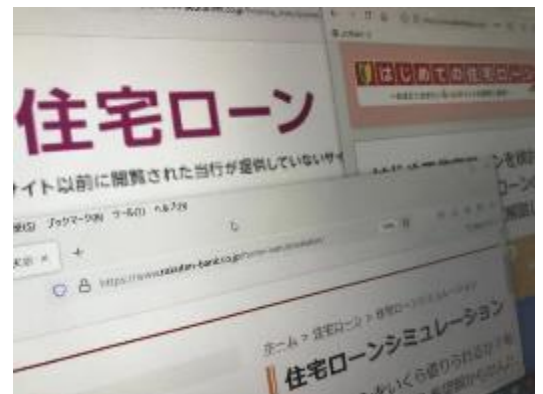
長い人生で老いるのは自らの体だけとは限らない。「30代で購入した家は80代には築50年となる」(和泉昭子さん)。戸建ては自ら屋根や外壁の定期修繕の費用を工面しないといけない。マンションも古くなると、修繕積立金の値上げが現実味を帯びる。「古くなると給湯器やトイレなども壊れ、交換・修理費が家計を圧迫する」(深野康彦さん)。「住み替え費を意識し、いざとなれば高く売れる価値のある物件を選ぶ姿勢も必要だ」(藤川太さん)。修繕費負担は免れられる賃貸派には「高齢になると賃貸契約が難しくなる」(野尻さん)懸念がある。



■4 位 住宅ローン問題

「退職金で返済」は慎重に 540 ポイント

晩婚化などで住宅購入が後ろ倒しになり、定年直前でも多額の住宅ローンが残る世帯がある。家計調査で50代の負債は上昇傾向だ。「退職金で完済を目指す例が多いが、実行すると貯蓄がほぼ残らない人も」(井戸美枝さん)。これでは老後の家計が行き詰まる。



改めて返済計画をよく確認し、まだ比較的若い世帯なら「早い段階で計画的に繰り上げ返済する」(深野さん)。既に定年の時期なら「退職金は一部のみ返済に充て、一定の貯蓄額を保ちつつ毎月返済額を減らす。同時に定年後もできるだけ働いて返済を続ける」(畠中さん)のが一案だ。

■5 位 預貯金が足りない

長生きを念頭に計画 530 ポイント

しっかり老後の計画を立てたつもりでも「寿命が延び資金が不足する例は多い」(森本さん)。特に「男性はなぜか『75歳で亡くなる』と思い込む人が非常に多い」(馬養雅子さん)。今や男性でも4人に1人、女性は2人に1人が90代まで生きる時代だ。長寿が誤算のタネとならないように計画を練りたい。

定期預金 (定期預金)	
種類	期間
スーパ-定期	1年 25
*500,000	

この問題は1位の介護費用と密接な関係がある。「『老い先はあと数年』と思い込み、老人ホームに入居後、行き届いた食事やケアで想定以上に体調が改善。入居年数が想定より延び、料金を払えない事態も」(竹下さん)

■6位 年金が想定より少ない
高年取者ほど注意 520 ポイント

「現役時代に高収入だった人ほど年金額が思ったより少ないという人は多い」(竹下さん)。会社員らが入る厚生年金は基本的に年収に伴い増えていくが、一定額を超えるとそれ以上は増えなくなる。



一定以上の給与をもらって働く高齢者の年金を減らす在职老齢年金も誤解されがち。「減った分はいずれもらえると思う人がいるが、後から支給されることはない」(望月さん)。まずはねんきん定期便などで正確な年金額をつかむことだ。早めに把握できれば「長く働きつつ、(月単位で受給額が増える)繰り下げ受給を選ぶなど対策はいくらでもある」(井戸さん)。

■7位 高齢者狙う金融商品で失敗
運用丸投げは禁物 435 ポイント

「退職金が入って資産運用が必要かと焦り出すと、そこを狙い澄まして金融機関のセールスが入る」(馬養さん)。だが個人が考えるべきは、時間をかけた長期運用だ。



実際は「高齢期に営業されるままテーマ型投資信託などへ一気に多額の資金をつぎ込む」(瀧さん)、「ブラジルリアルやトルコリラなど高金利外貨商品などリスクを取り過ぎ」(藤川さん)といった例が目立つ。「自分で仕組みがわからない商品に手を出さない。金融機関に丸投げせず、運用は自分で考える姿勢が必要だ」(平野さん)

■8位 認知症問題
「自分事」として備える 415 ポイント

高齢化に伴い認知症を患う人も増えているが「認知症で意思を示す能力がなくなると、預貯金の引き出しも自宅売却もできなくなることがまだわかっていない人は多い」(和泉さん)。「自分に限って大丈夫」と思い込むことが問題を深刻化させる。



「誰もが直面する事態と考え、備えることがこれからの時代は欠かせない」(野尻さん)。せっかくなら、できるだけ具体的な準備をしておきたい。「私は認知症になったら入居する介護施設を決めてあり、その具体名と費用の工面法まで娘に伝えている」(畠中さん) という専門家もいた。

■9位 リタイアできない
働き方、再検討を 270 ポイント

定年退職後は悠々自適の生活を送りたいと思っていても、現実には「年金や退職金を全く調べていなかったため、いざ定年となってもお金が足りず、やむなく働き続ける人が少なくない。『辞めたい時に辞められない』という精神的な負担は大きい」(馬養さん)。



人生が長くなったうえ、晩婚や高齢出産などにより、一般的な世帯の可処分所得や貯蓄の水準も大きく変化した。「親世代はもちろんだが、同じ会社に勤める少し上の先輩たちですら『モデル』にならない」(瀧さん)。何歳までどう働くか、真剣な検討が欠かせない。

■10 位 保険がムダに

家族と情報を共有 260 ポイント

生命保険や医療保険にしっかりと加入しているだけで安心と思い込むと、落とし穴がある。まず、加入した本人でも「(特約などの) 保障内容が理解できておらず、請求し忘れて保険金を手にできないケースがある」(和泉さん)。「生前に家族へ保険加入をしっかりと伝えていなかったことで、保険金請求さえしないで終わってしまうこともある」(大江さん)



保険金請求には時効があり、その後に子供らが気付いても後の祭りとなりかねない。帰省などで親子が顔を合わせた時には保険も含めて、お金のことをしっかり話し合う場を設けたい。

お金の切れ目、孫との切れ目？

上位 10 項目からは漏れた中にも多くの示唆があった。目立ったのは家族とお金の問題だ。例えば、子や孫への出費。「晩婚化の影響で、親世代が定年期にさしかかったところに子の教育費が多くかかる例も増えた」(大江さん)。「子の配偶者の父母(孫から見て、もう一方の祖父母)への競争意識が高まるあまり、身の丈を超えて孫に出費し、自分の貯蓄が底をつく人もいる」(馬養さん)。ただ、子や孫はお金を出す側が考えているよりドライなのかもしれない。「孫に多額の教育資金を一括贈与した途端、孫の里帰りがガクンと減った例もあった」(深野さん)

熟年期の離婚・再婚でお金にまつわる問題も多い。離婚は財産分与で、夫婦とも生活は厳しくなる例が多い。再婚では子供らと新たな配偶者との間で相続が問題になりやすい。「離婚も、再婚も様々な事情があってこそその行動なので、お金の面だけで語れない。ただ、いずれも生活設計が変わり、これに備えた資金計画などがあるという意識は持つべきだ」(畠中さん)

日経生活モニター会議 番外編 長寿時代のお金の失敗談

日経生活モニターにお金にまつわる失敗を聞くと、長寿化時代ならではの回答が並んだ。「インターネット証券で株式投資。今こそ『売り』と操作したはずが、成立したのは『買い』注文だった」(80 代男性)。慣れない操作と衰えを隠せぬ視力ゆえの失敗だろうか。

昔なら感謝されたはずの行動が、大きく目算が狂うこともある。「親は『家を残してやる』と恩を着せるのだが、完全に老朽化してもはや財産かお荷物かわからない」(40 代男性)。「『孫全員分の預金口座をつくったぞ』と語っていた父だが、認知症になって通帳も出てこないで、その話がウソかホントかさえ今となってはわからない」(50 代女性)

■ランキングの見方 人生 100 年時代のお金に関して誤算が多い項目。数字は専門家の評価を点数化。イラストは取材を基にしたイメージ。
グラフィックスは鎌田多恵子

門家の協力で「長寿化・高齢化した社会でお金に関連した誤算」を 35 項目抽出した。その後、13 人の専門家に「一般個人が見落としやすい」「失敗すると影響が大きい」などの観点から、重要度が高い理由や対策を含めて順位をつけてもらい、編集部で集計した。

■調査の方法 個人の家計管理、資産運用に詳しい専

江戸時代の大庄屋住宅を見学

実施日 2021 年 9 月 29 日(水)

参加者 街 ing7 名 阪田 阪田 笹嶋 南野 長谷川 牧 松岡

吹田市・中西家は江戸時代の大庄屋を勤めていました。中西家の屋敷は現在も保存されており、歴史と文化を伝えています。この屋敷を現地のボランティアガイドの方に案内してもらいました。

約 1,000 坪の屋敷地に、1826 年(明治元年は 1868 年)建築の主屋、長屋門、米蔵などの建物が建ち、江戸後期の大庄屋の屋敷構えを、ほぼ当時のまま伝えています。昼食は JR 岸辺周辺に広がる JR 貨物ヤードにオープンした複合施設「ビエラ岸辺建都」。お食事処「うどん酒菜ふうふや」と「ヘルシーフィールドキッチン」の 2 班に分かれおいしくいただきました。



説明の時間は 1 時間半を超えるほど。
ガイドの方の熱心な説明に感謝いたします。



中西家から吹田市に寄贈されたのは 2007 年。14 年前です。それまでは中西家の子孫が暮らしていました。
内装は現代風に改造されていますが、内装材を取り外すと、建築当時姿に復元できるように設計されています。



普段は立ち入り禁止の枯山水の庭に館長が入りシャッターを押していただきました。
見学者は多数あれども、看板を作成して写真撮影をするのは初経験とのことでした。

ふぐづくし会席を楽しむ 日帰りの会ご案内

日 時： 2021年12月 9日（木）
 集 合： 17：15 現地（パナソニックリゾート大阪1階 受付前）
 場 所： パナソニックリゾート大阪 吹田市青葉丘南10-1
 06-6877-0111
 会 費： 8,300 円/人（税込み） 飲み物代は各自負担
 （※ 一人鍋を利用）
 申 込 先： 代表 阪田 浩（080-1436-9881）
 tel & fax： 072-627-3480
 E-mail： ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp
 申込締切： 11月4日（木）

<料理イメージ>



大鍋イメージ



一人鍋イメージ(別料理例)

<アクセスマップ>

- 宇野辺駅から
送迎バス有
宇野辺駅発：16：59
(※ 帰りの送迎バスは
なし)
- 駐車場 有
本館玄関前付近
にもある。



※ 本会の行事は、自由参加です。不測の事故・傷害は、自己負担でご対応ください。

＝ 次回『街ing いばらき』例会のご案内 ＝

日 時： 2021 年 11 月 4 日(木) 15:00～17:00

場 所： 川本本店 茶論「縁」（サロン「えん」）

住所： 茨木市上泉町6－29 TEL:072-624-5552

- 内 容： 1 11 月 26 日(金)の紅葉狩り 参加者の確認
2 12 月 9 日(木)のパナソニックリゾート大阪での忘年会 参加者の確認
3 来年 4 月のお花見
4 情報交換

『街ing いばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年 3 回程度の街歩きを行なっています。
参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。
とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。
入会金 1,000 円 会費 年間 2,000 円(一か月 170 円)



《 編集後記 》

- 10 月の例会には市議員の方に来ていただき、阪急駅前整備や新・市民会館などについて説明していただきました。今回も豊富な資料、よく分かる説明で充実した時間となりました。お忙しい中、例会にご参加くださいました桂議員に感謝いたします。
- 2～5 ページに掲載しました人生 100 年時代お金の誤算は示唆に富んだ内容になっています。参考にして 10 年後の茨木を見届けられますように。
- コロナはいったん落ち着いたようにも感じられますが、油断はできません。街ing の例会、行事への参加にあたっては、マスク着用を継続していただきますようご理解、ご協力をお願いします。

《 編集・発行 》

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目 10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail:ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://www.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2021 年 10 月現在での訪問者は 9,450 <前月比 30 の増加> となっています。

